



▲舞台裏にあるセットに触れ仕組みなどを学ぶ児童たち

津山で県巡回小劇場 影絵の美しさに感動の拍手

児童に生の演劇や演奏を鑑賞してもらう、県巡回小劇場が10月13日、津山若者総合体育館で開催され、柳津小・横山小の児童209人が参加しました。劇団みんわ座による影絵の上演では、会場全体を利用した色鮮やかな照明や、響き渡る音楽と効果音に児童たちは歓声を上げ、感動した様子で拍手を送っていました。また、上演後には舞台裏を見学。劇団員から影絵の仕組みや、人形づくりなどの説明を受けて喜んでいました。参加した児童は「初めて影絵を見られたとてもきれいだった」と話していました。

米山で保育園運動会 元気にかけっこよーいドン

よねやま保育園運動会が10月7日、米山体育センターで開催されました。同センターは、5月からアスベスト（石綿）除去工事のため閉館していましたが、工事が終了し9月から使用を再開しています。当日は台風並みの暴風雨でしたが、園児たちは室内で保護者の声援を受けながら、三輪車と跳び箱を使った障害物競争やかけっこなど、元気いっぱい競技しました。また、この日のために一生懸命に練習してきたダンスも披露し、上手にリズムに乗って踊れたことに笑顔がこぼれていました。



▲保護者の声援の中、障害物競走の跳び箱へ元気に飛び乗る園児

南方で出張陶芸教室 自分の好みに完成したよ！

出張陶芸教室が10月11日、東郷幼稚園で開催され、園児27人が参加しました。夏休み期間中に小学生以上を対象とした親子陶芸教室を開催したところ、好評だったため、幼稚園児にも「作る楽しさ」と「物を大切に作る心」を学んでもらおうと開催。園児たちは、互いにどんな絵を描くのか相談しながら、自分の好きな色で皿を作りました。参加園児は「自分が描いた絵やマンガが皿になるなんてすごい」と話していました。完成した作品は、11月4～5日に開催する「みなみかた秋まつり」で展示されます。



▲園児たちは好みの色で絵やマンガを一生懸命皿に描きました



▲ジャスコ南方店でマイタケを販売する米川小みどりの少年団

東和米川小がマイタケ販売 植菌から販売まで貴重な体験

米川小みどりの少年団（5、6年生）のマイタケ販売が9月25日、ジャスコ南方店や市役所などで行われました。この事業は、米川生産森林組合と連携し、春に植菌したマイタケを収穫、販売するという林業体験の一つ。のぼり旗やプラカードを掲げ「採れたてのマイタケです！」と元気に宣伝しながら販売しました。団長の佐藤和裕君は「販売は難しかったけれど、お客さんが来てくれてうれしかった」と話していました。ジャスコ南方店では、60袋用意したマイタケが1時間足らずで完売する盛況ぶりでした。

中田でスポーツまつり 家族揃ってチャレンジ！

なかだスポーツまつりが10月8日、なかだアリーナで開催され、約150人が参加しました。この事業は、中田地区体育協会などの団体が、家族で気軽に楽しめるスポーツを体験してもらおうと、毎年体育の日の前後に開催しています。今年は各チェックポイントでクイズを解きながら進むウォークラリーや、グラウンドゴルフ、ディスクゴルフなどのニュースポーツ体験コーナー、トレーニングルームの無料開放を実施。お昼には豚汁のサービスもあり、スポーツの秋と食欲の秋を堪能した1日となりました。



▲家族でウォークラリーのチェックポイントのクイズに挑戦しました

登米で生活体験宿泊学習 共同生活で家事を学ぶ

児童の豊かな人間性を育成しようと、生活体験宿泊学習「合宿通学」が10月4日から7日までの4日間、登米公民館で行われました。登米小4年生から6年生までの13人が参加。児童たちは、ボランティアの人たちや中学生のジュニアリーダーに教えられながら、食事の支度や施設の清掃などをして共同生活をしました。最後の夜は、それぞれの保護者を招待して、寸劇や自分たちで作った料理を振る舞う夕食交流会を実施。参加した保護者は、子どもたちのおいしい手作り料理をうれしそうに食べていました。



▲保護者を招いての夕食交流会では一生懸命料理を作りました